



# 豊中市上下水道局

## 水安全計画 (概要版)

### 【豊中市の水源】

	自己水	受水(大阪広域水道企業団)
水源	猪名川の伏流水(地下水)	淀川(琵琶湖)の表流水
給水割合	約10%	約90%

### 【水道水に影響をおよぼす要因(異常)】

#### 《水源》

- ・事故等が原因の油による汚染
- ・富栄養化によるかび臭の発生
- ・PFAS類、耐塩素性病原生物による汚染
- ・台風・集中豪雨・河川工事等による濁水の発生

#### 《浄水処理》

- ・浄水処理不良による濁度の上昇
- ・浄水場等における計器の故障

#### 《給配水》

- ・クロスコネクション(水道以外の配管との接続)
- ・洗管不足、赤水の発生

安全で良質な水道水を安定して供給するため、水道法における水質基準の強化や水源の状況変化等に対し、水道施設の更新や監視体制を強化しながら、

- ・水源から蛇口(給水栓)までの過程で水質に危害を及ぼす要因はなくなる
- ・技術継承などの課題が顕在化

水源から蛇口(給水栓)までの安全性の向上を目指して『水安全計画』の策定

### 【豊中市の水安全計画】

平成24年に制定

#### 《基本方針》

- ・より安全でおいしい水道水を安定して供給します。
- ・お客さまからの信頼を第一に、コミュニケーションの充実を図ります。
- ・他都市とのコミュニケーションを充実させ、事故の未然防止に努めます。
- ・本市が培ってきた水道技術をマニュアル化し、技術レベルの維持・向上に努めます。
- ・法令等の遵守、継続的なシステムの改善により、危害発生頻度を減らせるように努めます。

#### 《これまでの水質管理》

- ・水源周辺の水質管理 (猪名川水質協議会)
- ・取・導・浄水施設・送配水の水質管理
- ・水質検査による処理状況等の確認



#### 《新たな手法》

- HACCP(食品安全管理システム)の考え方に基づき
- ・水道に存在する危害を抽出・分析し、危険性を整理して、リスクレベルを設定
  - ・危害発生防止やリスクの軽減対策を設定
  - ・危害が発生した場合の対応策を整理

※定期的な検証や見直しを実施

### 【実際の対応例】



### 【期待される効果】

#### ●安全性の向上

水道システム全体の危害原因事象を的確に把握・対応しリスクを軽減

#### ●維持管理の向上・効率化

管理方法や優先順位が明確になり、維持管理水準の向上、効率化

#### ●技術の継承

対応マニュアルの文書化により、技術やノウハウを確実に継承、高い技術力の維持

水質への影響を未然に防止し、危害が発生した場合にも迅速な対応が可能となり、水道水の安全性をより確実なものにすることができます。

豊中市上下水道局は安全でおいしい水をお届けします

